

民衆の声  
ボイス

# VOICEよこはま

公明党横浜市議員団 〒231-0017 横浜市中区港町1-1 TEL 671-3023 FAX 681-2060 http://www.yhkomei.com/ E-mail:shikai@yhkomei.com

## 公明党のネットワーク力で実現

### 横浜市 プレミアム商品券利用開始へ!!

横浜市は、国の交付金を活用してプレミアム商品券の発行を進めました。これは公明党の国と地方のネットワークの力で実現したものであり、横浜市における経済活性化が期待されます。

1冊1万円で2千円分のプレミアムが上乗せされた商品券が8月21日から利用可能となります。額面総額約100億円(販売額約84億円)の発行を予定しており、割り増し分など関連経費約23億円はすべて国の交付金を活用します。

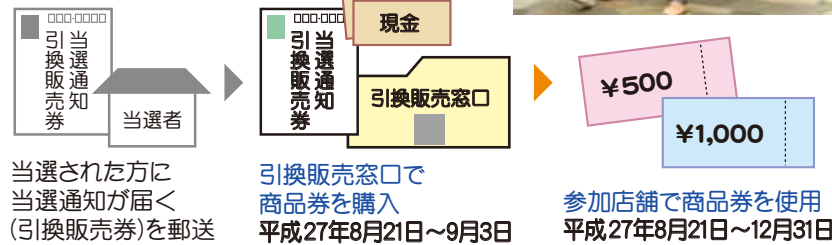
横浜市と横浜商工会議所、市商店街総連合会で実行委員会が構成されており、同連合会加盟の正会員店舗(約1万1千店)のほか、参加を希望する店(市内であれば規模などの条件なし)で使えるようになります。

プレミアム商品の半分にあたる千円分は同連合会加盟の正会員店舗だけで利用が可能で、商店街の活性化を図るとしています。事前購入予約を申し込まれた方で抽選により当選された方に、8月21日か

ら商品券の引き換え販売を行います。1回の買い物に10冊まで利用できます。なお使用期限が12月31日までと決められていますのでご注意ください。



#### 《商品券ご利用までの流れ》



## 箱根町 支援策を要望

公明党市議団は6月22日、「箱根町の支援を求める要望書」を林文子市長宛に提出しました。

大涌谷周辺での火山活動に伴い規制が続く箱根町は、観光客の減少による宿泊施設や土産物店等への影響が広がっています。市議団は箱根町役場を訪れ、火山活動等の調査活動を行うとともに、町長や議長から話を伺いました。

町民や観光客の安全対策を第一に、正しい情報発信に全力で取り組んでいる箱根町を支援するため、横浜市内において開催される物産展や商店街の消費喚起イベントなどの連携による箱根産品のPRや各種パンフレットの配布等、箱根町への支援策についての検討を要望しました。

## 自治体外交推進で世界に貢献



自治体外交とは、独自に国境を越えて結び付き、人的・社会的交流を通じて地球規模の情報の交流・開発を行なうことで、横浜市は長年にわたり日本の自治体外交のトップランナーとして世界の諸都市と連携してきました。

公明党市議団もその一環として、各国からの来賓による議場演説を提案してきました。本年6月1日にはインド・ムンバイ市、フィリピン・マニラ市などの4都市の市長や代表を迎え、議場演説や姉妹都市提携50周年記念フォーラムが行われました。

公明党市議団はこれからも世界平和に寄与するための自治体外交に一層力を入れてまいります。

## 平成28年度予算編成に向け各種団体との政策懇談会を開催



公明党市議団は毎年恒例となっている政策懇談会を開催しました。

各種団体からの要望を受けるとともに、施策の現状と課題について意見交換を行いました。横浜の急速に進行する高齢社会に向けた取り組み、女性の活躍、子育て環境の充実、経済の活性化、など多くの要望をいただきました。

今後、これらのご意見、要望事項を検証し、来年度以降の政策課題に取り組んでいきます。

## よこはま動物園「アフリカのサバンナ」がオープン

広大な草原や湿地など東アフリカのサバンナの景観を再現した、約4.6畝のエリアで、気候帯別に動物を展示。ズーラシアの8つ目のエリアとなり、「アフリカのサバンナ」の全面開園により、ズーラシアの全エリアが開園となります。



う珍しい光景を見ることができるとです。

つ、日本で初めて、ライオンやチーターなどの肉食動物やキリンやグランとシマウマ、エランドなどの草食動物と一緒に展示し、様々な動物が行き交

4月22日、「よこはま動物園ズーラシア」に新エリア「アフリカのサバンナ」がオープンしました。

この日はオープンに先立ち、アフリカ各国の来賓をはじめプレスを含めた関係者へのお披露目がありました。

新エリアの最大の特徴は、広大な展示場内に草原や岩場を再現し

# 団視察 女性の就労支援策の強化



《サポートセンターホームページ》

<http://wsy.city.yokohama.lg.jp/>

6月4日、神奈川県にある「横浜就職サポートセンター」を視察しました。同センターは、就労支援施設等の案内を行うと共に、個別相談や女性・若者を対象としたインターンシップを柱とする就労支援などを一体的に実施します。

また、合同就職面接会などによる求職者と企業の採用担当者との面談の場を提供しています。今回は平成27年度予算に盛り込まれた「キャリアブランクのある女性への就労支援策」を視察。専任女性相談員の配置やインターンシップの定員を増やすなど拡充が図られています。女性の就労を支える公明党として、益々力を入れて参ります。

## 「横浜市臨時福祉給付金」コールセンターを設置!



横浜市は消費税引き上げに際し、所得の低い方々への負担軽減を図るため、昨年度に続き暫定的・臨時的な措置として「臨時福祉給付金」(対象者数約51万5千人)の給付を実施します。

対象は平成27年度市民税が課税されない方、生活保護を受けていない方です。

給付額は1人につき6000円となります。多くの市民の皆様からの給付金に関する疑問にお答えするため、コールセンターを開設しています。

**0120-391-370**

平成27年6月1日～28年3月31日まで  
前日 9:00～18:00



**和田卓生** (旭区)  
●政策・総務・財政委員会  
●減災対策推進特別委員会



**尾崎太** (鶴見区)  
●政務調査会事務局長  
●市民・文化観光・消防委員会  
●健康づくり・スポーツ推進特別委員会



**望月康弘** (港北区)  
●政務調査会副会長  
●こども青少年・教育委員会  
●大都市行財政制度特別委員会 委員長



**斎藤真二** (都筑区)  
●政策・総務・財政委員会  
●基地対策特別委員会 副委員長



**副団長 斉藤伸一** (保土ヶ谷区)  
●建築・都市整備・道路委員会  
●孤立を防ぐ地域づくり特別委員会



**副団長 源波正保** (泉区)  
●水道・交通委員会  
●大都市行財政制度特別委員会 副委員長



**団長 高橋正治** (緑区)  
●健康福祉・医療委員会  
●観光・創造都市・国際戦略特別委員会



**横浜市会第56代副議長 加藤広人** (磯子区)  
●市民・文化観光・消防委員会  
●観光・創造都市・国際戦略特別委員会



**竹野内猛** (金沢区)  
●建築・都市整備・道路委員会  
●減災対策推進特別委員会



**安西英俊** (港南区)  
●温暖化対策・環境創造・資源循環委員会  
●観光・創造都市・国際戦略特別委員会副委員長



**中島光徳** (戸塚区)  
●健康福祉・医療委員会  
●孤立を防ぐ地域づくり特別委員会 副委員長



**行田朝仁** (青葉区)  
●国際・経済・港湾委員会  
●大都市行財政制度特別委員会 副委員長



**竹内康洋** (神奈川区)  
●こども青少年・教育委員会  
●健康づくり・スポーツ推進特別委員会委員長



**福島直子** (中区)  
●温暖化対策・環境創造・資源循環委員会委員長  
●健康づくり・スポーツ推進特別委員会



**加納重雄** (瀬谷区)  
●国際・経済・港湾委員会  
●基地対策特別委員会



**仁田昌寿** (南区)  
●水道・交通委員会  
●基地対策特別委員会

皆さまの、いちばん近くで動く、働く。  
横浜市会公明党です。  
新しい構成により議会がスタート



水道・交通委員会  
基地対策特別委員会  
横浜市会議員

**仁田まさとし**



仁田まさとし 検索



メルマガの登録はこちらへ

仁田まさとし市議は2013年5月に

市会副議長に選出され、4月の改選後も引き続き、その職を務めてきましたが、6月30日に佐藤佑文議長とともに辞職いたしました。副議長として議長を補佐し、公正・円滑な議会運営を行えるように努め、同時に議会改革を進めてきました。

仁田まさとし市議は11年の本会議で、市議としての活動や議会のあり方などを明確にするための「横浜市議会基本条例」の制定を呼びかけました。昨年、同条例が制定されたこと



退任の挨拶をする仁田市議

より、市が策定する「中期4か年計画」のような計画を議会で議決するようになりまし  
今後は、災害時ににおける議会体制の整備や議

# 2年間の副議長としての重責を終える

## 不断の議会改革を推進

会・議員の役割を検討していきます。これから開かれた議会に向けた取り組みを進めます。

### 水道・交通委員会に所属

改選後の新しい構成で、仁田まさとし市議は水道・交通委員会と基地対策特別委員会の所属になりました。

今年度、水道局では災害用地下給水タンクなどの応急給水拠点の認知度アップを図ります。

昨年度行った調査では拠点を知っている市民の割合が14%にとどまっております、名称

の見直しや標識デザインのリニューアルなどを検討しており、災害時の飲料水確保へ向けた取り組みを進めます。

中村ウォータープラザ



4月に南区中村

町にオープンした「中村ウォータープラザ」には災害対応力を強化する設備を整備する

予定です。防災・減災の啓発活動などを通し、市民に身近な施設として、活用が期待される場所です。

交通局関係では、地下鉄ブルーラインの快速運転が7月18日から始まりました。同時にダイヤ改正を行い、混雑緩和を図っています。

来年2月の南区総合庁舎移転で区西部からのアクセスが課題になっていきます

が、「地域貢献型バスサービス」事業の一環として具体化が検討されており、7月下旬には試走が行われました。

今後とも区民の足の確保、利便性向上が図られるよう、議論を進めていきます。



出発する快走電車



新路線に向けて試走